



大幸薬品

2022年12月期 (FY2022) 第3四半期 連結決算報告

2022年11月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

1. 第3四半期 連結決算業績

2. 第3四半期 セグメント別事業概況

3. トピックス



1. 第3四半期 連結決算業績

収益認識基準の適用による前期数値の組替について

- 2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用
- 前期第3四半期における売上高への影響は△471百万円、営業利益への影響はなし
- 本資料では前期比較を容易にするため、前期数値も会計基準適用後(新基準※)の数値に組替

【主な変更点】

- ・ 顧客へのリポート費用等:費用計上ではなく、売上高から減算
- ・ 将来の返品に伴う返金見込額:従来の返品調整引当金ではなく、返金負債に係る影響額を売上高より減算

(単位:百万円)

■ 前年同期実績	FY2021 (従来基準)	FY2021 (新基準※)	差異
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	
売上高	8,355	7,884	△471
売上総利益	3,826	3,312	△514
販売費及び一般管理費	5,405	4,890	△514
営業利益	△1,578	△1,578	-

※前期の新基準は監査法人による監査を受けていない参考値

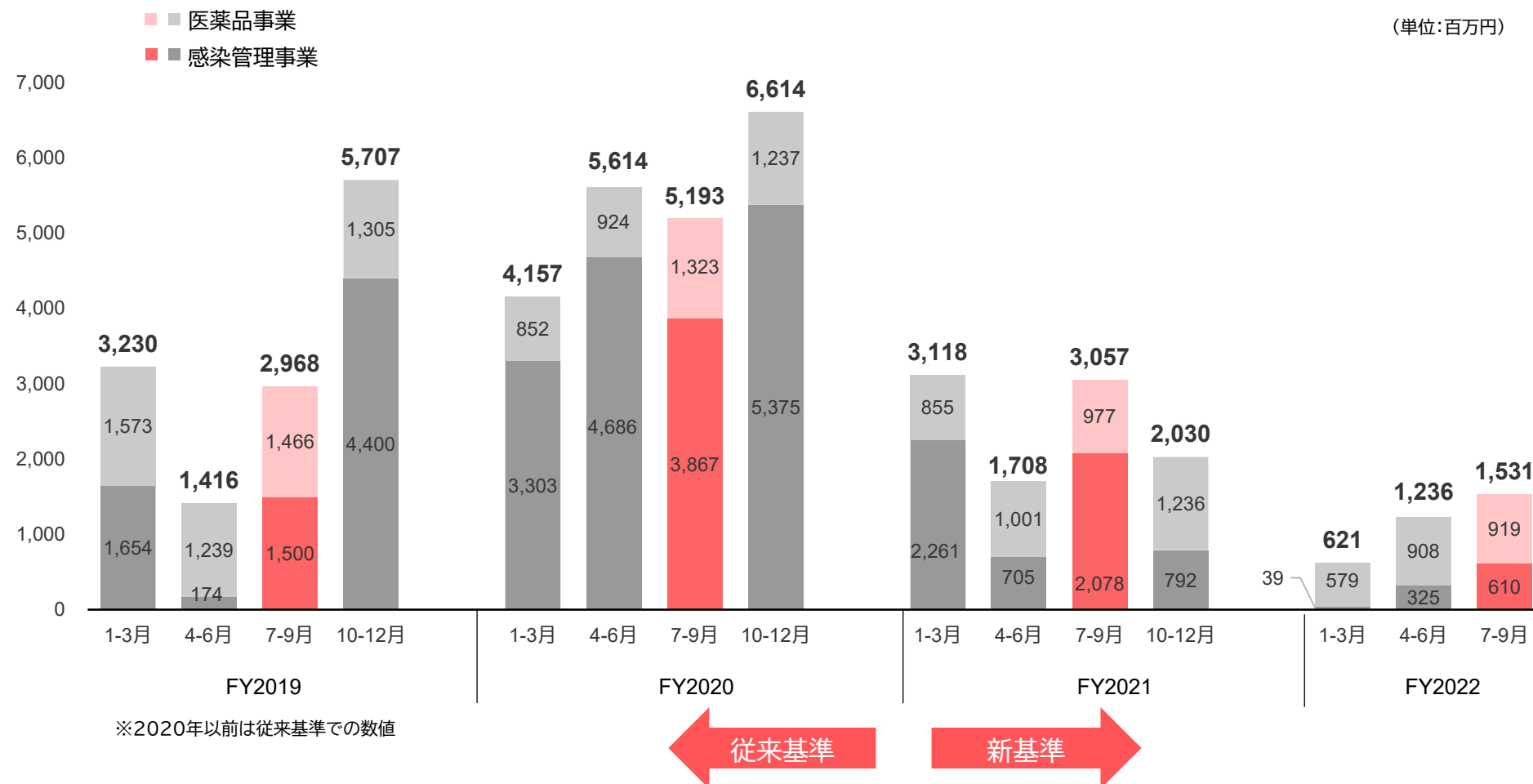
- 売上高は、感染管理事業の需要減少や消費者庁による措置命令の影響により大幅減収
- 広告販促費の圧縮や希望退職の実施等、費用圧縮に努めたものの、第2四半期に引き続き営業損失を計上

(単位:百万円)

	FY2021(新基準)		FY2022		増減額 (調整後)	増減率 (調整後)
	第3四半期 累計実績	売上比	第3四半期 累計実績	売上比		
売上高	7,884	-	3,389	-	△4,495	△57.0%
売上総利益	3,312	42.0%	476	14.0%	△2,836	△85.6%
販売費及び一般管理費	4,890	62.0%	3,226	95.2%	△1,663	△34.0%
営業利益	△1,578	△20.0%	△2,750	△81.2%	△1,172	-
経常利益	△2,389	△30.3%	△2,898	△85.5%	△509	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,947	△24.7%	△3,182	△93.9%	△1,234	-

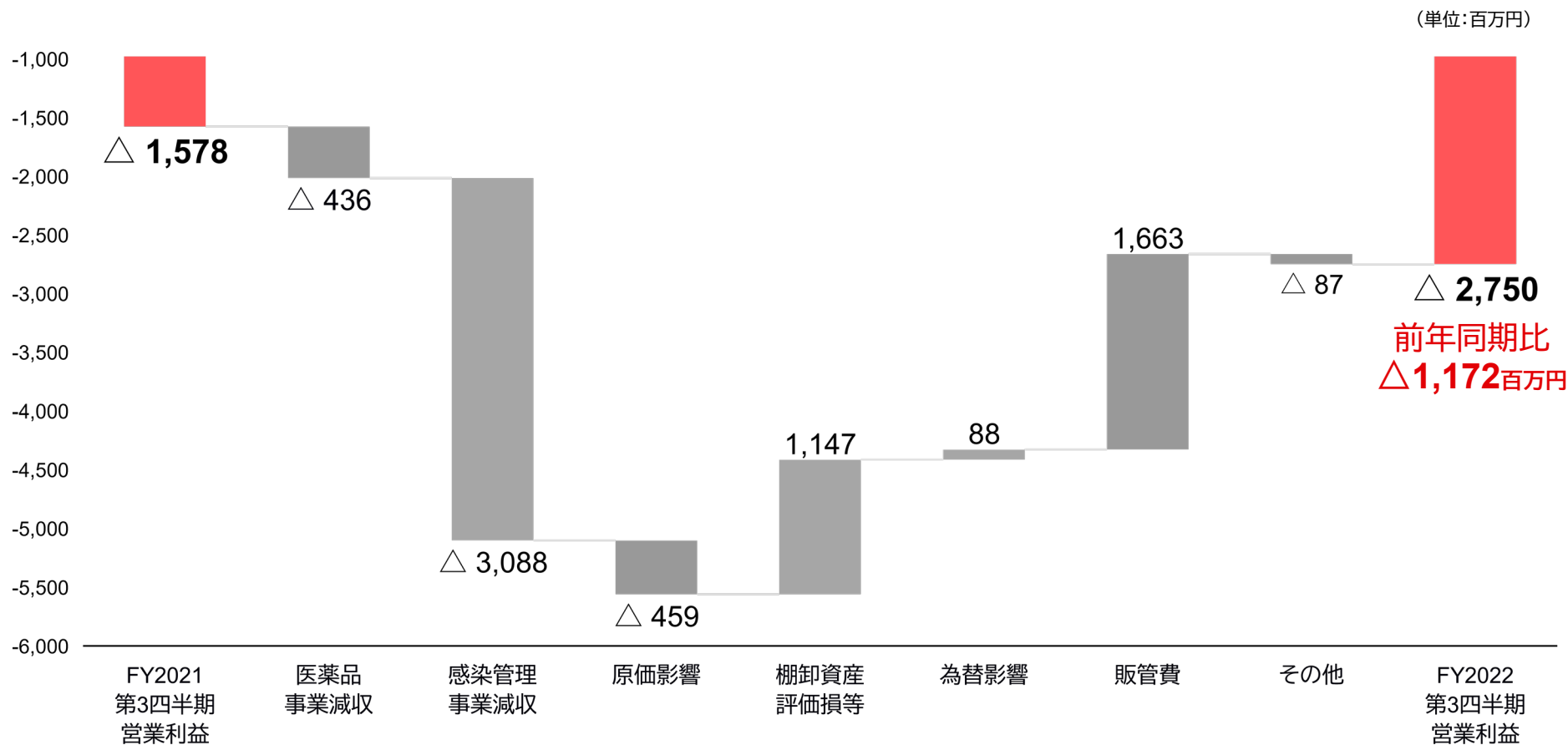
連結売上高推移(四半期)

- 医薬品事業は、原材料変更起因する生産量低下や、国内向け優先生産に伴う海外向けの供給不足により減収
- 感染管理事業は、措置命令の各種影響により引き続き減収



営業利益の変動要因

- 措置命令に関連する感染管理事業の減収(返品含む)により、大幅減益



販売費及び一般管理費

- 構造改革の推進によって、広告宣伝費の見直しや運送費(在庫保管料)の削減等が進み、販売費が大きく減少
- 希望退職の実施により人件費を大幅に圧縮

(単位:百万円)

	FY2021(新基準)		FY2022		増減額 (調整後)	増減率 (調整後)
	第3四半期 累計実績	構成比	第3四半期 累計実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	4,890	-	3,226	-	△1,663	△34.0%
販売費	2,095	42.9%	955	29.6%	△1,140	△54.4%
広告宣伝費	1,073	21.9%	414	12.8%	△658	△61.4%
販売促進費	410	8.4%	200	6.2%	△210	△51.3%
運送費	611	12.5%	340	10.6%	△270	△44.3%
人件費	1,430	29.3%	1,101	34.1%	△329	△23.0%
その他経費	1,364	27.9%	1,170	36.3%	△193	△14.2%
研究開発費	360	7.4%	300	9.3%	△60	△16.7%
支払手数料	444	9.1%	426	13.2%	△17	△4.0%

経常利益・四半期純利益

- 前期第2四半期より、感染管理事業に係る工場の操業停止が継続しており、操業停止関連費用を営業外費用に計上
- 当期第2四半期に、希望退職に伴う関連費用226百万円を特別損失に計上

(単位:百万円)

	FY2021(新基準) 第3四半期 累計実績	FY2022 第3四半期 累計実績	前期比	増減要因等
営業利益	△1,578	△2,750	△1,172	
営業外収益	54	141	+86	主に為替差益の影響
営業外費用	865	289	△576	主に操業停止関連費用の影響 ※前期第2四半期より計上
経常利益	△2,389	△2,898	△509	
特別利益	60	-	△60	
特別損失	225	282	+56	希望退職関連費用226百万円
税金等調整前四半期純利益	△2,553	△3,180	△627	
法人税、法人税等調整額	△605	1	+606	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,947	△3,182	△1,234	

■ 棚卸資産は23億円まで縮小(内、感染管理の棚卸資産は13億円)

(単位:百万円)

	FY2021 期末	FY2022 第3四半期末	前期比	増減要因等
流動資産	13,783	8,656	△5,127	
現金及び預金	5,796	3,403	△2,393	
売上債権	4,056	1,849	△2,206	
棚卸資産	3,206	2,345	△860	医薬品在庫高 1,001百万円 感染管理在庫高 1,307百万円
固定資産	8,751	7,818	△933	
資産合計	22,535	16,474	△6,061	
流動負債	4,320	2,183	△2,137	
固定負債	5,407	4,471	△935	
純資産	12,807	9,819	△2,988	
負債純資産合計	22,535	16,474	△6,061	
自己資本比率	56.8%	59.6%		



2. 第3四半期 セグメント別事業概況

セグメント別事業概況

- 医薬品事業 : 供給不足による減収や、京都工場稼働による固定費の増加により減益
- 感染管理事業 : 措置命令の影響等により大幅減収となり、引き続きセグメント損失を計上

(単位:百万円)

		FY2021(新基準) 第3四半期 累計実績	FY2022 第3四半期 累計実績	増減額 (調整後)	増減率 (調整後)
医薬品事業	売上高	2,833	2,407	△426	△15.0%
	セグメント損益	1,009	△42	△1,051	△104.2%
	利益率	35.6%	△1.8%	-	-
感染管理事業	売上高	5,045	976	△4,069	△80.7%
	セグメント損益	△1,494	△1,800	△305	-
	利益率	△28.1%	△184.4%	-	-
その他事業	売上高	5	5	+0	+3.0%
	セグメント損益	△21	△14	+6	-
	利益率	△383.6%	△251.8%	-	-

- セイロガン糖衣Aの一部原材料変更起因する生産量低下の影響により、前年同期比で減少
- 正露丸は、欠品したセイロガン糖衣Aの代替や他社製品の欠品の影響により増収

製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2021(新基準)	FY2022	増減額 (調整後)	増減率 (調整後)
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
国内医薬品事業売上高	2,119	1,904	△214	△10.1%
正露丸	950	1,104	+153	+16.2%
セイロガン糖衣A	1,433	1,039	△394	△27.5%
正露丸クイックC	55	54	△0	△0.8%
その他 ※1	47	50	+3	+6.6%
返品・値引・協賛等	△367	△344	+23	—

※1 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」等

正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC

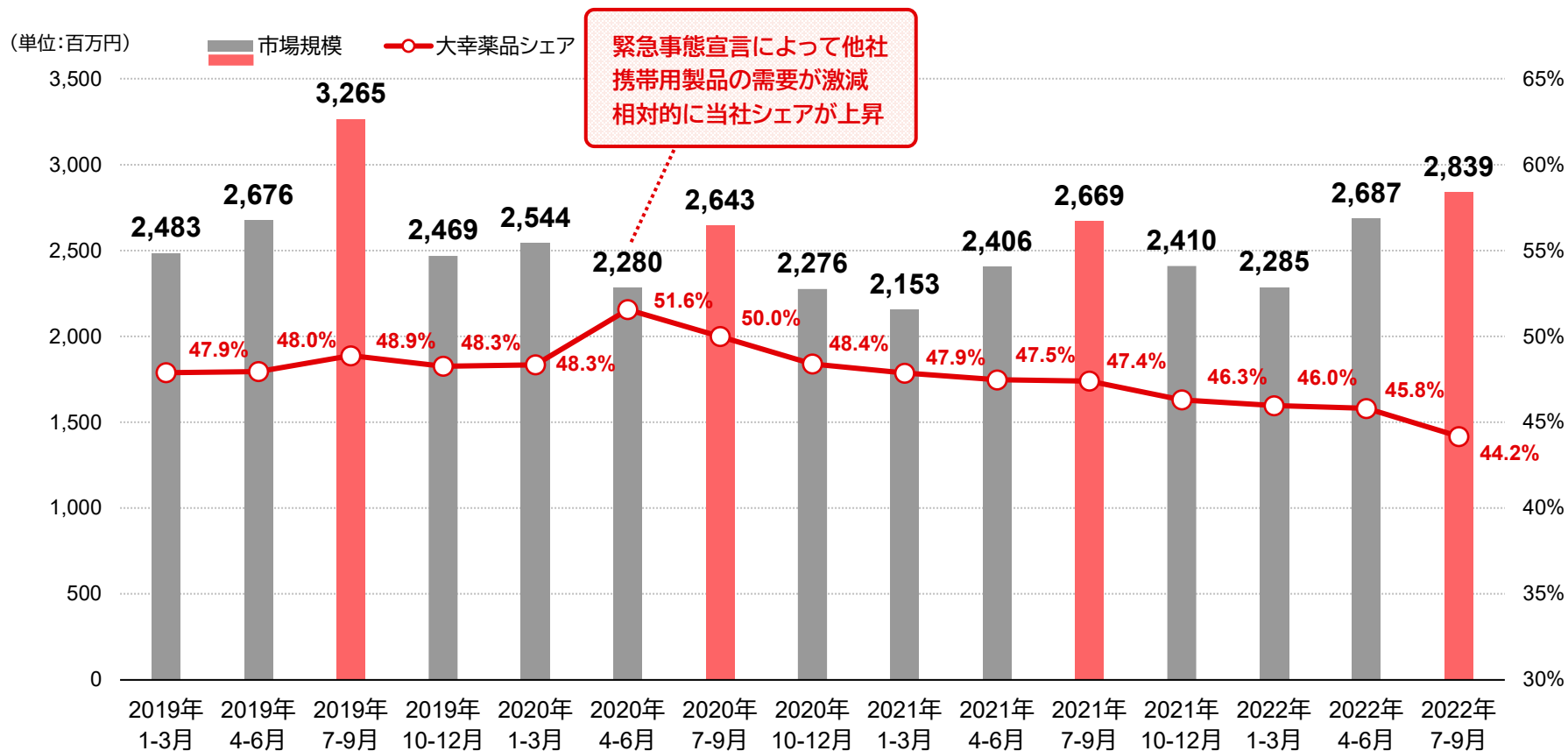


ピシヤット下痢止めOD錠



- 国内止瀉薬市場はコロナの影響が一巡し回復傾向
- セイロガン糖衣Aの供給再開を一刻も早く実現し、シェア回復を目指す

国内止瀉薬市場



※出所: 株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 主力の中国等での需要は回復傾向にあるものの、国内向けを優先とした製造スケジュール調整により減収

地域別売上高

(単位:百万円)

	FY2021(新基準)	FY2022	増減額 (調整後)	増減率 (調整後)
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
海外医薬品事業売上高	714	502	△211	△29.6%
中国	326	496	+169	+52.1%
香港	207	—	△207	—
台湾	200	—	△200	—
その他対象エリア ※1	31	29	△1	△4.8%
返品・値引・協賛等	△51	△23	+28	—

※1 米国、カナダ、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル

正露丸



セイロガン糖衣A



- 措置命令の影響(返品含む)により売上は低調
- 新パッケージの市場展開が完了し、秋冬に向け販促を強化

対象顧客別売上高

(単位:百万円)

	FY2021(新基準)	FY2022	増減額 (調整後)	増減率 (調整後)
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
感染管理事業売上高	5,045	976	△4,069	△80.7%
国内一般用	4,241	1,377	△2,864	△67.5%
国内業務用	1,115	574	△540	△48.5%
海外	313	129	△183	△58.6%
返品・値引・協賛等	△624	△1,104	△480	—

クレバリン

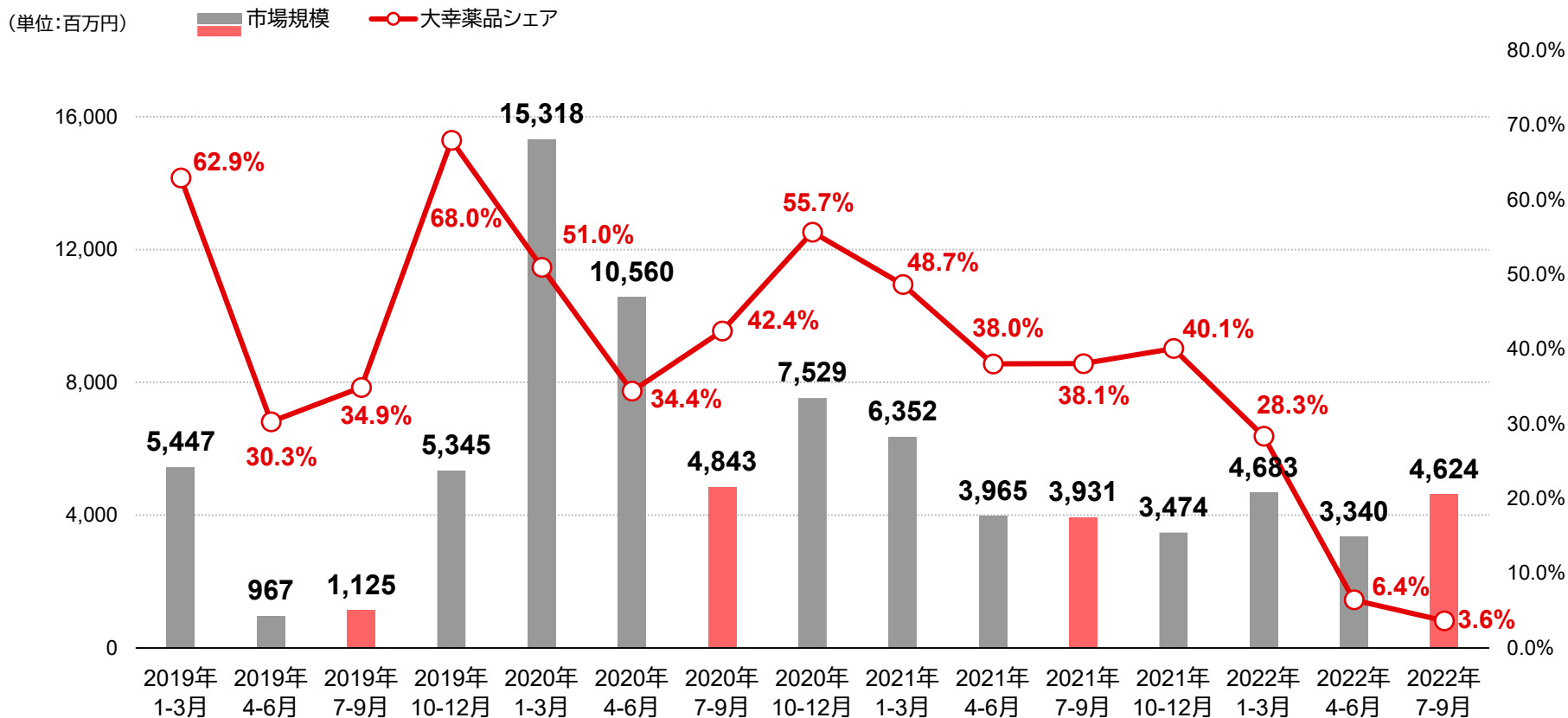


クレバ&アンド



- 市場規模は、前年同期比で回復傾向
- 措置命令による旧パッケージの回収、および新パッケージの市場展開(9月末)までの期間における、店頭在庫消滅に伴うシェア低下

国内ウイルス除去市場

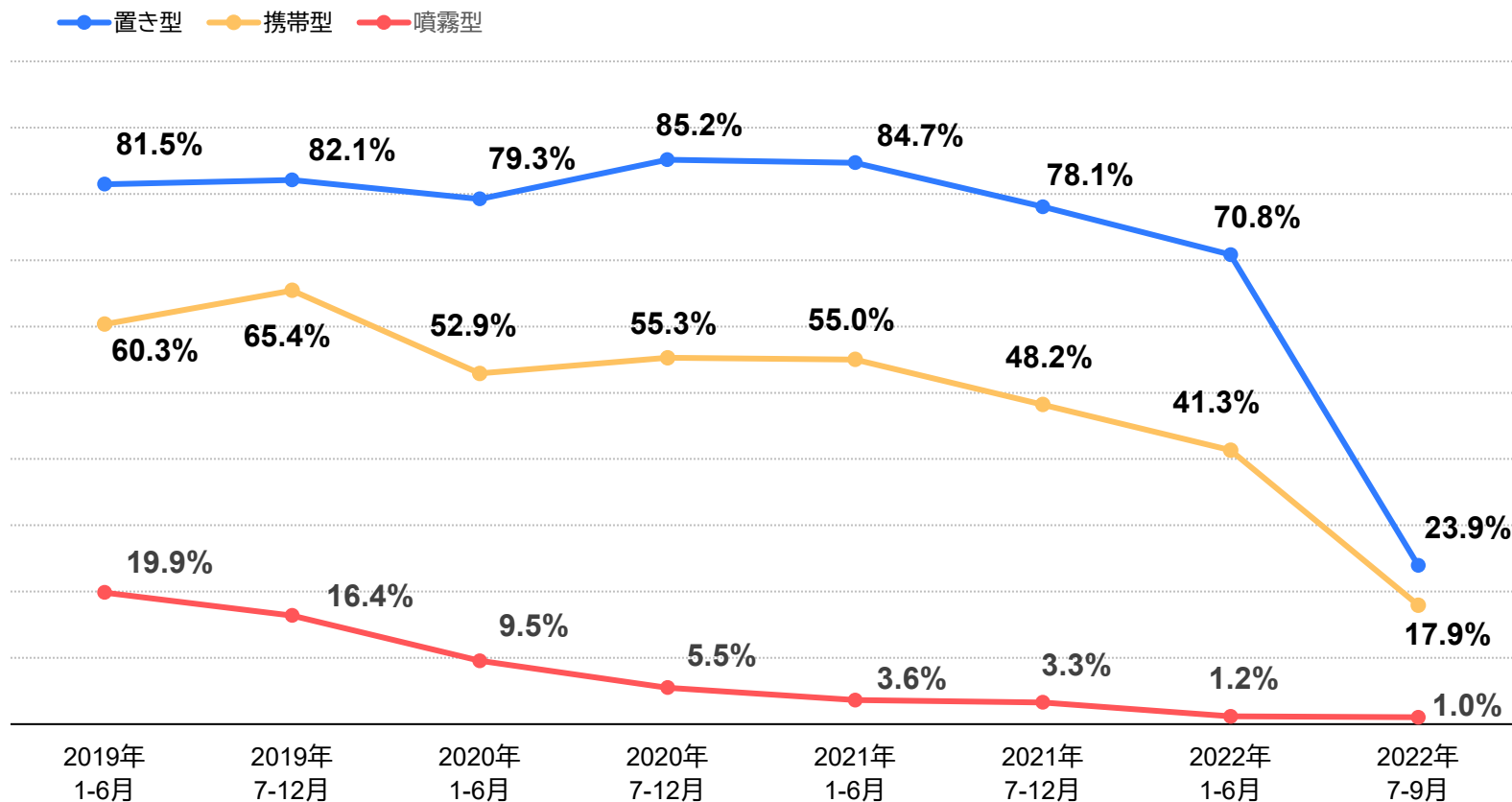


※出所: 株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 措置命令による新旧パッケージの入れ替えに伴う店頭在庫消滅により、置き型、携帯型、噴霧型の全ての当社シェアは低下
- 新パッケージの市場展開は完了しており、早期シェア回復を目指す

国内ウイルス除去市場

分類別シェア



※出所：株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

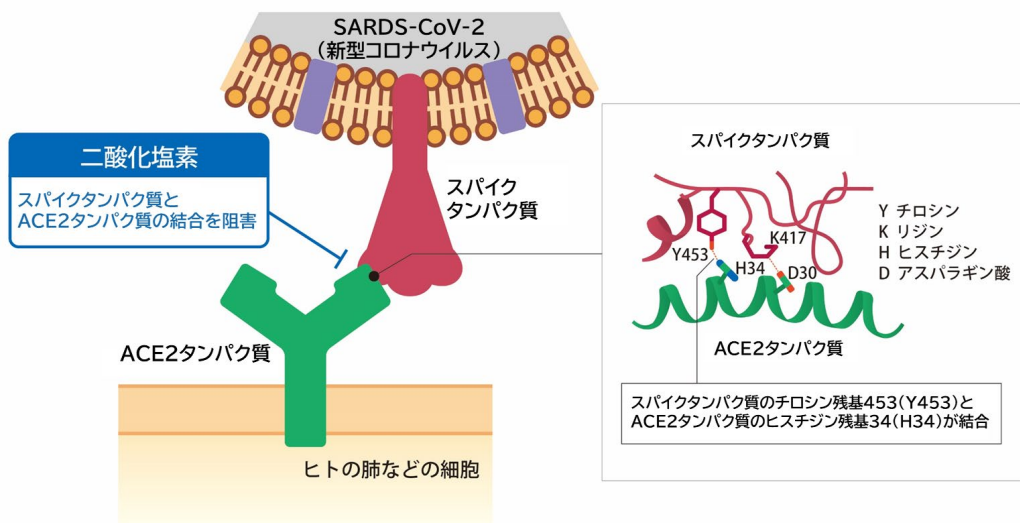


3. トピックス

特許第 6854029 号
(二酸化塩素の液剤)

特許第 6998092 号
(二酸化塩素のガス)

発明の名称:「SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)と ACE2(アンジオテンシン変換酵素2)タンパク質との結合阻害用組成物」



本特許の概要

- 二酸化塩素を含む組成物がSARS-CoV-2のスパイク(S)タンパク質とACE2タンパク質との結合を阻害する方法
- SARS-CoV-2が存在する場所において、二酸化塩素の液剤(ガス溶存液)では10~2,000 ppm(重量比)、ガス(気体)では0.00001ppm~230ppm(体積比)の各組成物を適用するステップ

ACE2タンパク質 : 人間細胞の細胞膜に存在する酵素領域を持つ膜タンパク質で、SARS-CoV-2により宿主細胞受容体として利用されている



大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません